

令和4年度要望事項に係る質問文

1 教職員の配置の改善 Ⅱ - 1

教職員の未配置の問題については、ここ数年来、学校現場の大きな課題となっているものの、大量退職や常勤講師志願者の減少等の影響を受け、教員定数未配置、産育休及び私傷病休暇の補充困難の問題は一層深刻になっています。増加の傾向にある非常勤講師についても、授業系非常勤講師の確保は厳しいと認識しています。

現状に鑑み、人材確保の方策として、以下3点を提案します。

まず、養護教諭と事務職員の確保の可能性は、教諭・常勤講師等に比べて高いものと推察します。定数措置と並行し、採用枠拡大による養護教諭と事務職員の県内全校配置、また、配置基準の工夫による、複数配置校の拡大を実現いただきたい。そうすれば業務負担がますます増える教職員の負担軽減、子どもが多様なニーズへの対応が可能になるものと考えます。

次に、非常勤講師への着目です。中でも指導補助系非常勤講師「にこにこサポート」の配置基準拡大が叶えば、重要な課題と認識しつつ、なかなか行き届かぬ、特別な支援を要する児童の個別最適な学びの保障が可能となるものと考えます。

そして、今年度中途に配置いただいた緊急校務支援員について、お礼申し上げます。配置校からは喜びの声が上がっているところであり、今後、配置が拡大されれば、学校救済に資すると考えます。

以上3提案についての、見解をいただきたいと存じます。

2 再任用教職員の多様な雇用形態の実現及び待遇の改善 Ⅱ - 2

また、1の質問のとおり、教職員の定数確保については、大変厳しい状況が続いています。また、大量採用により、学校運営の即戦力が確保できないことも大きな課題となっています。そのような状況下で、再任用教員の知識と経験への期待は多大であり、配置された学校では担任や分掌主任を割り当て、その活躍に大いに助けられているところです。

しかし、待遇面が十分とは言えず、特に給与面の改善をご検討いただきたい。新規で設計される再任用短時間勤務についての配置や条件等は、そのことによる常勤教員の志願減少が予想できるため、十分な検討をお願いしたい。

再任用教職員の勤務条件等を見直し、定数確保への並びに、円滑な学校運営への支援をしていただきますように強く要望します。

3 初任者研修内容の精選と、初任者及び学校の負担軽減について Ⅱ - 3

大量退職に伴う大量採用で、学校規模問わず、毎年、新規採用者が配置されるようになりました。中でも、新卒者の指導は特に綿密に行われる必要があります。しかし、生徒指導問題の多発や特別な支援を要する児童・生徒への対応、保護者対応等を筆頭に、現場の多忙化が一向に改善されない状況の中、育成のための十分な指導が叶わず、教職への失望感を募らせてしまった結果、1年を待たずして辞職する初任者がみられるようになったことは誠に遺憾に思います。また、定数未配置、年度中途欠員の不補充、コロナウイルス感染症による担任の長期休暇取得は、教育課程実施上のブレーキとなり、新規採用者の校内研修時間を返上して、校内体制を組まざるを得ない場合が少なくありません。さらに、学校によっては、毎年新卒者が入っております。2年目、3年目を迎えても自立の途上にあり、変わらずの支援・指導が必要です。そこには十分に手が回らない状況です。新規採用者の自立支援と円滑な学校運営がともに叶うような、初任研の研修時間数の弾力化、内容精選及びプログラムの再検討を強く要望します。